



3年生クラブ見学 & クラブ発表



2月10日 ほか



卒業前後の児童たちに「小学校時代の思い出」を問うと、修学旅行や運動会などに続いて、登場する活動に“クラブ”がよく挙がります。

次年度を控え、現3年生を対象にクラブ見学やクラブ発表が、この日から始まりました。

ふだんからの活動も楽しいのですが、発表等で“人に見てもらおう”ことも加わると、児童たちは俄然張り切るようです。もちろん見学し選ぶ方も、興味津々です。

発表や見学は、2月下旬まで続きます。次年度は異学年の児童たちとどのような出会いや共同の活動が待っているのでしょうか？

楽しい時間をあれこれ考えているうちに、すぐに新年度になってしまいそうですね。



小学校の“クラブ活動” の時間



○主に第4学年以上の児童が、同じ趣味や好みにより異年齢集団を構成し、計画を立て役割分担をして、協力して楽しく活動する。
○卒業後あるいは将来、地域・社会におけるサークル活動や同好会など同好の者による自主的な活動につながることも期待している。



「寒くても 外へ出て 体を動かしましょう！」

全校ドッジボール大会
1月30日(木)

暖冬の今シーズン、関東地方でも大雪が予想された1月28日(火)は、季節外れの大雨のため、1月30日(木)に延期して体育委員会主催の全校ドッジボール大会を開催しました。昨年度までは、11~12月に催されていましたが、カリキュラムとの整合等も鑑み、今年度はこの時期に企画しました。

朝の登校後や中・昼休みを使って、この日のためにクラスで練習に取り組む姿がよく見受けられましたが、本番当日も、春を感じさせるような温暖な晴天に恵まれました。

インフルエンザでの欠席者がやや目立ち、マスク着用にて競技に臨んだ児童もいましたが、寒さに縮こまることなく、元気いっぱいボールゲームを楽しみ、青空に歓声や応援の音が響き渡りました。

終わりの言葉での、体育委員会からタイトルの「(これから)寒くても外へ出て体を動かしましょう！」という呼びかけに、皆が、「そうだよ、その方が気持ちいいよね！」と、納得し実感できる大会でした。



※ 開成南小では、次年度の年間計画について着々と立案中です。特に「みなみ風コンサート」については、芸術鑑賞の態度や保護者等の方々の来校状況などを鑑み、開催方法を鋭意検討中です。何卒、御理解ください。



代表委員会 ～学級・学校の代表として～



2月4日(火)

“三学期も残り一カ月半です。お世話になった友だちや先生に感謝の気持ちを伝えていきましょう。そして他学年と交流していきましょう。”

今回の議案書の冒頭に、企画委員会の児童たちが書いてくれた、代表委員へのメッセージです。よりよい学校生活を目指して、様々に呼びかけてくれています。この日に議題となった「1月の重点目標の振り返り」では、「時間の観念を念頭に置く」「校舎内での落ち着いた移動を」「自らの行動を考えて振り返ること」など、誰もが爽やかに学校生活を過ごすための意気込みや前向きですばらしい姿勢を、しっかり感じられました。



十年間、進化をし続けている開成南小学校の伝統ですね。今後も、お願いします！

この日の議題



- ・1月の重点目標の振り返り
- ・2月の重点目標について
「身近な人に感謝の気持ちを伝えよう」
「物を大切にしよう」
- ・学校のきまりについて
- ・ふれあい給食(3/5予定)
& ふれあいタイムについて



授業参観 & 懇談会 2月14日(金)



今年度最後の授業参観及び懇談会を、2月14日(金)に開催しました。寒くも暑くもなく、晴れでも雨でもない、何とも言えない初春の曇天模様の空の下での開催となりましたが、お忙しい中、御出席くださった保護者の方々へ、少し早いですが、今年度の感謝を申し述べます。

一年分の成長を感じていただけただけでしょうか？

今年度から定期PTA総会は4月のみですが、授業等の参観は随時可能です。今後も何かの機会に授業の様子をご覧ください。

6年生卒業へ向けて 2月12日(水)より

2月27日(木)に、6年生「ありがとう集会」が予定されています。次年度、本校を牽引する5年生の児童活動デビューです。3月19日(木)には卒業式もあります。これらに向け下級生への歌唱の指導を始めました。また、代表児童による、卒業式の呼びかけ練習も始まりました。

勿論、初めからうまくはいかないだろうけれど、少しずつ自覚や力などを高めていってほしいです。お世話になった思いを込めて、「あとは任せてください！」と胸を張り、6年生が安心して巣立っていられるような、心温まる行事にしたいですね。



季節のたより

昨年は1月に結氷が見られた開成南小学校の池でしたが、暖冬の今年は2月7日(金)になって、ようやくシーズン初の結氷を迎えました。2月中旬になってくると、開成町近辺の河津桜や菜の花、学校や酒匂川流域の桜の開花予測やコントラストの強い景観が気になり、ウキウキしてきます。「卒業式の頃はどうか？」「入学式まで大丈夫かな？」など、わずか一週間ほどの開花期間が学校行事や新しい門出とうまくタイミングが合ってほしいなどと、我儘勝手な願望をあれこれ思いやります。人間が自然を前にしてはあまりにも無力であることは、よくわかっているのですがね。

花と言えば今では「桜」ですが、平安時代以前では、御存知のように、花と言えば「梅」が主流でした。開成町内や足柄平野にも、梅の花が咲いたり、実の収穫や加工をしたりしているところが多く見られ、縁も深いようです。

“東風(こち)吹かばにほひおこせよ 梅の花 あるじなしとて春な忘れぞ”

高等学校国語の古文教材でよく登場する、「学問の神様」として学生におなじみの「菅原道真」の歌です。作者の数奇な運命や類稀な学識、特徴的な修辞技法や歌の背景・口語訳などがわかりやすく共感と呼んでいるようです。

梅の香とともに、「春」という出会いと別れの季節が近くなってきているのも感じます。春本番が待ち遠しくもあり、寂しくもあるこの時期です。

